

1.開会挨拶 委員長 佐藤 校長

2.議事

- 1) ご報告事項
- 2) 意見交換
- 3) その他協議事項

国土交通省の動き

(1) 自動車整備士制度改正

- ・新制度カリキュラムは完成しており県への届け出も済ませている。
今春4月入学生より適用される。
- ・科目名が変更になり時間数が減少している。(旧2068h→新2001h)
- ・試験時期を前倒しして(3/14予定)年度内に合否が発表となる。
- ・その他は前回委員会時と変わっていない(1級口述廃止)

(2) 新制度下でのYTCの方向性

- ・1級自動車整備科定員を20名から25名に変更(届け出済み、2025.04入学生より)
- ・自動車整備科定員を80名→75名に変更。総定員が10名増えて310名となる。
- ・2輪については現状の「選択制」授業として残す。中身については車両の分解組付けを実施するため教科書には載らない充実したものとなる。

(3) 制度改正について委員より

- ・企業側も1級所持者の待遇見直しが進んでいるが、企業の考え方により国家資格より社内資格を優先する傾向もある。

2) 外国籍エンジニアについて

(1) 新型コロナ開けからの傾向

- ・かなりの来校者数(入学希望者数)はある。次年度も変わらない見込み。
- ・相変わらずネパール、スリランカが増加、そしてバングラデシュなどのムスリムの国も増加した。
- ・今後も外国籍エンジニアに頼らざるを得ず、採用を強化していく。
- ・研修や日本人エンジニアとの関係など、委員企業内で情報交換できれば。

(2) 委員からの意見

- ・採用後の在留資格の期限が1年は変わらず、更新手続きが頻繁にあって多忙。
- ・もちろん個人の性格や能力によるものが多いが、国籍によって「傾向」はある。
明るさやまじめさ、意見の主張など。どうやって折り合いをつけるかは引き続き課題である。

以上